

活動名：北九州『en』プロジェクト



地域の主体的な活動をサポートする。

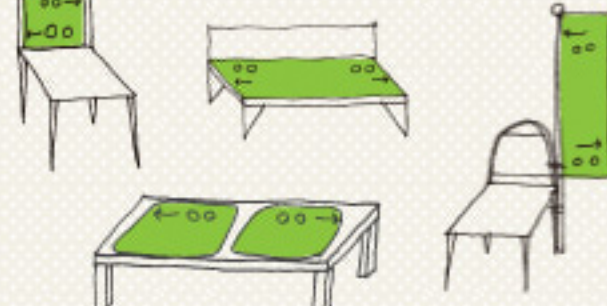
- 快適な住環境実現のための計画・ルールづくりの支援
- 歴史的・伝統的なまちなみを生かした景観づくりの支援
- 地域の歴史文化など地域づくりの支援
- 生活基盤整備を計りながら、生活を守るまちづくりの支援

支援1 つなぐツールの製作

縁台やイスに案内板をつける
(シート、座布団、のぼりなど)

縁っ茶プログラム 活動概要

現在あるコミュニティカフェやフリースペース、公共施設などに「(仮)つなぐ縁台」を設置。「(仮)つなぐ縁台」には隣りの場所の案内板をつけ、紹介することで、人とまちの情報交換をし、交流を生む。また、第三者の目で見えた魅力を掘り起こし、地域に還元する。いろいろな情報ツールを使い発信する。



誰でも気軽に立ち寄れる多世代をつなぐ場

例えば まち同士がつながっていくと・・・



※現在、西工大岡田研究室では長浜・中央町・木屋瀬でまちづくり活動をしています

支援2 魅力掘り起こし調査

北九州のまちの魅力をもう一度掘り起こし、上の世代から若い世代や子どもたちへ直接語りつないでもらう場をセッティングし、継承していくことを目的としたプログラムです。



支援3 イベント、ワークショップ等の企画・運営のサポート

北九州の高齢者から小さい子どもまで、一体になって参加できるイベントやワークショップを企画運営していきます。



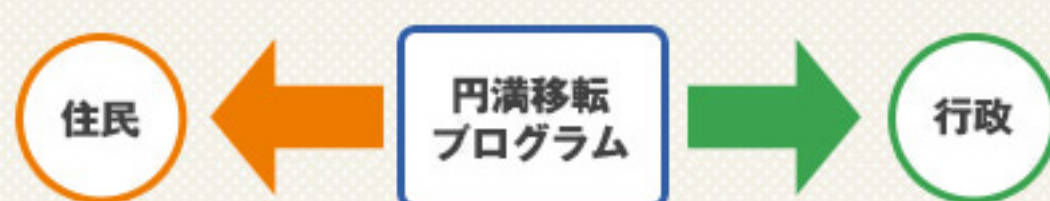
支援4 地域の生活を守るサポート

円満移転プログラム 活動概要

道路整備事業による立ち退き対象者が安心して移転できるように段階に応じて、相談、移転計画・提案をする。

- 行政の説明会などでのサポート
- 相談窓口の開設

例えば 道路整備で移転しなければならなくなった時・・・



- 事業に対する相談窓口
コミュニティが継続できるような移転の計画・提案
補償に応じた住まいの移転計画・提案
移転先の建物・土地についての調査・診断
- わかりやすく説明するためのサポート
説明用資料作成（配布資料や掲示資料）

補足：
北九州市では毎年道路整備事業によって、住居の立ち退きを余儀なくされる住民が多くいる。事業説明は専門用語が多く1度の説明では理解しにくい。よくわからないまま、住み慣れた場所を離れる人も少なくはない。そこで、第三者として住民と行政の中間的な立場で事業をわかりやすく説明する事で安心して移転できるような支援が必要。



支援5 情報発信のサポート

『en』プロジェクトの取り組みを始め、北九州で主にまちづくり等を目的に活動している団体の情報発信のためのツール製作等をお手伝いします。



まち新聞などの作成



パンフレットの作成